



2016-2017 年度 RI テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017 年度 No.42

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017 年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄



(ジョン F. ジャーム会長)

例会記録

第 1860 回例会

平成 29 年 5 月 17 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. ソング：我等の生業
3. ゲスト：南砺市商工会経営指導員 川上智弘氏
4. ビジター：松村 寿会員（南砺 RC）酒井安子会員（小矢部 RC）



本日の花(河合会員提供)：①紫蘭 ②横咲き大山蓮華

5. 会長の時間(幹事報告も併せて)：商工会経営指導員の川上様、後程卓話宜しくお願いします。我らの生業というソングを歌いましたが、職業に奉仕するロータリーでありますので今日のお話しが参考になるのではないかと思います。ビジターの松村さん、酒井さんようこそ、ごゆっくりしてってください。五月になりました官公庁もクールビズになり、ノーネクタイであります。当クラブもくつろぎ易い服装でいきたいと思います。気候の話がよく出てきますが、一日のうちに四季があるという言葉が使われます。三年程前にメルボルンに行ったとき、日によって 15～16℃だったり 30℃だったり、また 10 何度になったりでありました。日本も最近少し気温の変

動が多くなった気がします。皆さん風邪などひかれなように自愛ください。先週は 5RC のゴルフ大会でしたが、私が足を引っ張ったことで最下位でありました。もう暫くしますと「庄川クリーン大作戦」が行われますが、社会奉仕委員会の方で軍手や菓子などの手配を行っていただいています。勝星さんより軍手 2 ダースの協賛をいただきました。次の河合年度の活動計画書の原稿がまだ提出されていない委員会があるようですので、至急提出をお願いします。今日は幹事が欠席ですので代わって報告します。①以前に「ひろくんの命を救おう」という募金依頼がありましたが、個人的に協力しましたら礼状が来ていました。②近隣クラブの例会変更は、事務局に確認ください。



6. 委員会報告：①出席委員会（横山幹委員長）：21 名中 12 名出席（52.14%）②社会奉仕委員会（坂井委員長）庄川クリーン大作戦は、6 月 4 日（日）7:00 スタートです。会員の方は 6:30 までに庄川支所前に集合ください。関係団体への協力依頼も済んでおり、当日は 200 名程度の参加を予想しています。③青少年奉仕委員会(長谷

川委員長): 井波中生徒と清掃奉仕活動、5月29日14:30~15:20(6限の(時間帯)集合時間14:15まで、井波中学校(確認のため、会長掲載)

7. ニコニコBOX(長谷川次期幹事SAA代行:本日3名)

山本武夫会長: 本日は南砺市商工会、川上様ようこそ。後程卓話よろしく申し上げます。ビジターの松村様、酒井様ようこそ。

河合会員: 先週失礼しました。美しい花の誕生祝ありがとうございます。

中島会員: 昨日は仕事で東京でしたが、会議出席者の殆どがノーネクタイ、クールビズはだいぶ定着したように感じました。

卓話「商工会支援制度について」

南砺市商工会主任経営指導員 川上智弘氏



浅田会員(紹介者): 今日の卓話当番です。商工会のお付き合いをさせていただいておりますので、色々な補助制度などについて川上経営指導員さんをお願いしました。川上さんは職員歴20年のベテランであります。県連から今回南砺市に来ていただいております。出身は小矢部市であります。



川上氏: 南砺市商工会井波事務所で昨年より勤務しています。川上です。今日は主に三点についてお話しします。一つは中小企業の現状について。二つに、その課題についての国の施策について。三つには、人材育成の募集の関係についてであります。

(以下、配布された各資料を参照しながら説明がある。)

①中小企業白書について[中小企業基本法の定義と企業数]…世の中の大半が中小企業である。経済センサスによると全国で392万者の内381万者と…99.7%を占めている。[中小企業・小規模事業者の現状]…中小企業のうち85.1%を占めている。国は光の当たるように小規模事業者に特化した法律を制定された。現状分析…中小企業の経営利益は過去最高水準にあり、景況感も改善傾向にある。企業数全体は減少傾向にあり、2009年から2014年にかけて39万者減少している。また、廃業の現状からみると20年間で経営者年齢の山は47歳から66歳へと移動している。これは個人事業者の減少が著しいのが大きな要因である。小規模事業者の活動実態と取組(商圏・売上)では、売り上げの6割が地域内の販売となっている。売り上げを伸ばしている者は商圏外に販路を拡大している事業者である。(別添資料の「小規模事業者持続化補助金」に基づき補助金申請の手続きや注意点について説明がある。) 前回は、全国で14,600者くらい申し込みがあり、因みに県内では129の事業者が採択されている。南砺市全体では13、その内井波では6者が採択されている。IT活用面では、インターネットでの受注比率の高い者が売上高の増加傾向にある。(補助金資料の2により細部説明)

(続いて3の省エネ補助金の細部説明) これらの補助金は知らなかったらそれまでなので情報収集が大切である。

(資料4のミラサポの説明がある) 続いて(資料5の中小企業施策等説明会の説明がある) このあと(効率的な経営) 経営計画書の作成など、(短期・中長期的取組み)、(人材育成) について説明がある。最後に、とやま中小企業人材育成カレッジについて(パンフレットに基づき説明がある。) 企業を支える『人づくり』の研修内容について話されて終了する。

(会報担当) 中島、長谷川、長田(写真)、山本武夫

* 例会会終了後: 河合エレクトから次年度への提案あり

